



平成26年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月12日

上場会社名 K L a b株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3656 URL http://www.klab.com/jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名) 真田 哲弥
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員経営管理部長 (氏名) 高田 和幸 (TEL) 03-4500-9077
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

1. 平成26年12月期第2四半期の連結業績 (平成26年1月1日～平成26年6月30日) (百万円未満切捨て)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年12月期第2四半期	9,585	34.6	696	—	700	—	541	—
25年12月期第2四半期	7,119	—	△880	—	△727	—	△597	—

(注) 包括利益 26年12月期第2四半期 546 百万円 (—%) 25年12月期第2四半期 △633 百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
26年12月期第2四半期	円 銭 16.40	円 銭 15.83
25年12月期第2四半期	△23.80	—

- (注) 1. 平成25年12月期第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、平成25年12月期第2四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。
 2. 平成25年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年12月期第2四半期	9,258	6,211	66.5
25年12月期	8,697	4,007	45.5

(参考) 自己資本 26年12月期第2四半期 6,153 百万円 25年12月期 3,953 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年12月期	—	0.00			
26年12月期(予想)			—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年12月期の連結業績予想 (平成26年1月1日～平成26年12月31日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期(累計)	15,585	43.1	1,296	—	1,293	—	1,032	—	30.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 — 社(社名)—、除外 1社(社名)メディアインクルーズ株式会社

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年12月期2Q	35,250,600株	25年12月期	33,058,600株
26年12月期2Q	1,180,600株	25年12月期	1,189,600株
26年12月期2Q	33,028,012株	25年12月期2Q	25,112,676株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは、前連結会計年度より決算期を8月31日から12月31日に変更しております。これに伴い、当第2四半期連結累計期間（平成26年1月1日～平成26年6月30日）は、比較対象となる前第2四半期連結累計期間（平成24年9月1日～平成25年2月28日）と対応する期間が異なることから、前年同四半期の比較については記載しておりません。

- 当第2四半期連結会計期間の売上高は、5,160,104千円となり、第1四半期連結会計期間比16.6%の増加となりました。
- 売上高の増加要因は、以下の通りです。
 - ・「ラブライブ！スクールアイドルフェスティバル」の日本国内での売上が続伸。アニメ2期の放映（4月～6月）の効果もあり、売上高は毎月過去最高を記録。
 - ・「ラブライブ！スクールアイドルフェスティバル」の海外版も好調な出足を記録。
 - ・2014年度に新規リリースした「天空のクラフトフリート」及び「テイルズオブアスタリア」も売上が堅調に推移。
- 費用面では、引き続き固定費の削減を実施しました。
 - ・第1四半期連結会計期間にて実施した人員整理の結果、人件費は第1四半期連結会計期間比で82,832千円の削減。
 - ・KLab America（米国）にて開発したオリジナルタイトル「Crystal Casters」の不振を受け、現地社員を削減。
 - ・昨年度末に本社オフィスの1フロアの返却を決定したことに加えて、当第2四半期連結会計期間に本社オフィスの残る2フロアのうち1フロアの返却を決定。
- この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,585,648千円、営業利益696,169千円、経常利益700,010千円、四半期純利益541,580千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は9,258,238千円となり、前連結会計年度末に比べ、560,603千円の増加となりました。

流動資産合計は7,429,909千円となり、前連結会計年度末に比べ、561,463千円の増加となりました。これは主に、売掛金の増加によるものであります。

固定資産合計は1,828,329千円となり、前連結会計年度末に比べ、860千円の減少となりました。これは主に、敷金及び保証金の減少によるものであります。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は3,046,475千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,643,762千円の減少となりました。

流動負債合計は2,969,134千円となり、前連結会計年度末に比べ、1,611,351千円の減少となりました。これは主に、短期借入金の減少によるものであります。

固定負債合計は77,340千円となり、前連結会計年度末に比べ、32,410千円の減少となりました。これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は6,211,763千円となり、前連結会計年度末に比べ、2,204,365千円の増加となりました。これは主に、資本金、資本剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年12月期第3四半期連結累計期間の業績見通し

当社グループの属するモバイルオンラインゲーム業界は、ヒット作の有無によって業績が大きく変動いたします。現時点において、平成26年12月期(通期)の業績見通しを見積もることは困難であるため、平成26年12月期(通期)の業績見通しは開示いたしません。

なお、平成26年12月期第3四半期連結累計期間の業績見通しは以下の通りとなっております。

平成26年12月期第3四半期連結累計期間(平成26年1月1日～平成26年9月30日)

売上高	15,585百万円
営業利益	1,296百万円
経常利益	1,293百万円
四半期純利益	1,032百万円

上記に記載した将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な不確定要素により変動する可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間において、当社の連結子会社であったメディアインクルーズ株式会社は、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,517,756	3,975,406
売掛金	1,877,506	2,419,472
その他	479,619	1,041,205
貸倒引当金	△6,436	△6,175
流動資産合計	6,868,445	7,429,909
固定資産		
有形固定資産	300,294	245,028
無形固定資産		
のれん	71,856	59,244
その他	549,435	824,124
無形固定資産合計	621,292	883,368
投資その他の資産	907,602	699,932
固定資産合計	1,829,189	1,828,329
資産合計	8,697,635	9,258,238
負債の部		
流動負債		
買掛金	723,964	1,121,103
短期借入金	2,750,000	700,000
賞与引当金	101,407	93,162
未払法人税等	51,711	104,156
その他	953,402	950,712
流動負債合計	4,580,486	2,969,134
固定負債		
長期借入金	97,288	75,000
その他	12,463	2,340
固定負債合計	109,751	77,340
負債合計	4,690,237	3,046,475
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,748,090	3,574,526
資本剰余金	2,443,846	3,270,281
利益剰余金	△570,623	△29,043
自己株式	△626,131	△622,126
株主資本合計	3,995,181	6,193,638
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△41,218	△40,184
その他の包括利益累計額合計	△41,218	△40,184
新株予約権	44,699	45,644
少数株主持分	8,734	12,665
純資産合計	4,007,397	6,211,763
負債純資産合計	8,697,635	9,258,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
売上高	7,119,494	9,585,648
売上原価	5,468,939	6,874,338
売上総利益	1,650,554	2,711,310
販売費及び一般管理費	2,531,387	2,015,141
営業利益又は営業損失(△)	△880,832	696,169
営業外収益		
業務受託料	10,717	21,233
受取利息	673	579
為替差益	155,654	—
事業構造改善費用戻入額	—	27,536
その他	2,401	2,672
営業外収益合計	169,447	52,021
営業外費用		
支払利息	6,745	5,488
持分法による投資損失	8,495	4,266
為替差損	—	36,167
その他	427	2,257
営業外費用合計	15,668	48,179
経常利益又は経常損失(△)	△727,054	700,010
特別利益		
抱合せ株式消滅差益	—	16,395
自己新株予約権消却益	—	2,344
特別利益合計	—	18,739
特別損失		
事務所閉鎖損失	—	12,869
減損損失	4,947	21,938
関係会社株式売却損	14,647	—
その他	903	1,749
特別損失合計	20,498	36,557
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△747,552	682,192
法人税等	△147,482	136,498
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△600,070	545,694
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,467	4,113
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△597,603	541,580

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	△600,070	545,694
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△33,618	850
四半期包括利益	△633,688	546,545
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△631,928	542,614
少数株主に係る四半期包括利益	△1,759	3,930

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において、ドイツ銀行ロンドン支店による新株予約権の権利行使等があり、資本金が826,435千円、資本準備金が826,435千円増加しました。この結果、当第2四半期連結会計期間末において資本金が3,574,526千円、資本剰余金が3,270,281千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成25年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ゲーム事業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,569,569	549,924	7,119,494
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,569,569	549,924	7,119,494
セグメント利益	1,477,963	172,591	1,650,554

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため、差異調整は行っていません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

ゲーム事業セグメントにおいて、平成24年9月3日付でメディアインクルーズ株式会社の発行済株式総数の100%の株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間においては307,101千円であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		四半期連結 損益計算書 計上額 (注)
	ゲーム事業	その他事業	
売上高			
外部顧客への売上高	9,562,408	23,240	9,585,648
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	9,562,408	23,240	9,585,648
セグメント利益	2,707,063	4,246	2,711,310

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しているため、差異調整は行っていません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結会計期間中に縮小が決定した事業所に対し、報告セグメントに含まれない全社資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は21,938千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。